

1 開催日時 令和5年3月17日（金）
開会 午後 1 時 30 分 閉会 午後 2 時 19 分

2 開催場所 備前市役所 3階 大会議室

3 会議区分 定例会

4 出席委員

議席番号	職 名	氏 名	出欠
1	委 員	立 花 朗	出
2	委 員	高 取 睦	出
3	委 員	出 井 鉄 二	出
4	委 員	田 中 道 生	出

5 出席者

職 名	氏 名	出欠
教育長	松 畑 熙 一	出
教育振興部長	石 原 史 章	出
社会教育部長	波多野 靖 成	出
国際教育推進部長	守 屋 孝 治	出
図書館事業推進室長	高 橋 清 隆	出
教育振興部次長	草 加 浩 一	出
教育総務課長	竹 林 伊久磨	出
小中一貫教育課長	谷 口 健 一	出
幼児教育課長	竹 林 幸 作	出
社会教育課長	横 谷 重 樹	欠
教育文化振興課長	畑 下 昌 代	出
地域教育課長	池 田 満 之	出

6 付議事件 議案等付議事項のとおり

7 会議状況 議事録のとおり
傍聴人 なし 非公開 あり

8 署名委員 2番 高 取 睦

9 書 記 教育総務課総務計画係長 田原 美智代
教育総務課総務計画係 渡邊 博史

10 その他 次回開催日時・場所
日時 令和5年4月24日（月）午後1時30分 開会
場所 備前市役所 6階 委員会室

議 案 等 付 議 事 項

区 分	案 件 名
議案第13号	備前市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について
議案第14号	備前市小中一貫教育校に関する規則の一部を改正する規則の制定について

午後 1 時 30 分 開会

教育長 それでは令和5年3月教育委員会会議定例会を開催いたします。

委員並びに出席職員に申し上げます。教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人・団体情報を公開することにより、個人の権利利害を害するおそれのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあつては、委員会の議決をもって、非公開といたします。非公開審議の事例は、かなり繁雑にありますので、あらかじめご承知置きをお願いします。

委員会会議規則及び委員会申し合わせにより、議事内容や発言内容に関する指摘はあらかじめ分かる場合は教育長から発言し、そうでない場合は発言途中であっても、委員並びに出席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど、所要の手続を行いたいと思います。以上よろしく願いいたします。

それでは、議事に先立ちまして、2月定例教育委員会会議以降の教育行政の概要について報告をいたします。

2月13日、定例校長会があり、出席しました。

2月17日、第5回の備前市教育未来創造会議を開催いたしました。委員の皆様からいただいたご意見を反映させた教育振興基本計画をお示しし、熱心に議論いただきました。

2月19日、吉永B&G海洋センター体育館において開催された、B & G財団会長杯近隣市町親善少年剣道大会に参加しました。当日は18団体から110名の選手参加があり、熱戦が繰り広げられました。

2月21日、小中一貫教育推進のため、各中学校区で開催を計画した「備前市学校づくりサロン」を、伊里中学校区を皮切りに開始しました。保護者、地域、学校関係から15名のご参加をいただき、様々な意見が出されました。

2月24日、今年度2回目の岡山県青少年教育センター閑谷学校運営委員会が開催され、出席しました。

また、同日、岡山大学津島キャンパスで開催された「教育学とデータサイエンスで人間・社会・文化の未来を拓く先駆者養成クロスプログラム」のキックオフシンポジウムに出席し、本市で取り組んでいるマイクロステップ・スタディについて事例発表をいたしました。

また、同日夜、三石中学校区の学校づくりサロンを開催しました。保護者、地域、学校関係から9名のご参加をいただき、活発な意見交換がされました。

3月2日、片上高校の卒業式に出席いたしました。9名の生徒が4年間の学びを終え、力強く巣立っていきました。

3月7日夜、吉永中学校区の学校づくりサロンを開催しました。保護者、地域から7名のご参加をいただき、様々なアイデアが出されました。

3月8日、備前市文学賞実行委員会があり、出席しました

3月10日、新しい図書館をつくろう会が開催され、出席しました。プロポーザルで最優秀であった提案の模型を元に、新図書館のイメージが共有され、活発に意見交換が行われました。

3月11日、日生中学校の卒業式に出席をいたしました。37名の生徒が、3年間を過ごした学び舎を巣立っていきました。在校生の送辞、卒業生の答辞とも、熱い気持ちのこもったもので、聞いていて私も目頭が熱くなりました。

また、同日、久々井の総合運動公園陸上競技場でかけっこ教室を開催し、市内を中心に約90人の小学生の参加がありました。天候にも恵まれ、環太平洋大学の体育学部体育学科の学生から速く走るためのアドバイスを受け、みるみる上達していきました。小さい頃から気軽にスポーツに親しむきっかけになればいいと思っております。

3月12日、旧閑谷学校講堂で開催された備前櫓の木賞の表彰式があり、出席をいたしました。甚九郎太鼓保存会が最優秀の大賞に選ばれました。

3月13日、論語かるた実行委員会があり、出席しました。

また、同日、環太平洋大学で開催されました教育講演会を聴講いたしました。探究学習をどう指導するかをメインのテーマに、基調講演と3つの事例発表、ディスカッションであるシンポジウムが行なわれ、取組の好事例を共有するとともに、改めて探究学習の重要性を強く実感いたしました。

3月16日、新聞報道になりますが、資料の提供があるようですが、三石灯りの街では子どもたちに三石の歴史を伝える活動が、地域の文化、自然遺産の継承に取り組む市民の活動を顕彰する日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産に、「三石灯り（あかり）の街～子どもたちと伝える耐火煉瓦で栄えたまちの記憶～」として登録されました。県内では3例目、備前県民局管内では初めての選出で、耐火煉瓦産業で栄えた建築群の景観保全とまちの歴史伝承への取組が評価されたものでございます。

また、同日、備前緑陽高校の学校運営協議会があり、出席しました。様々な活動内容を伺いました。

また、同日、アートカルチャー・文化スポーツ表彰式に出席をいたしました。

3月17日、備前緑陽高校の2年次生による「びぜんみらい学」中間報告会があり、参加しました。全部で16のテーマで発表され、生徒の総合的な探究の成果をお聞きしました。

以上で、主要な教育行政の報告を終わります。

それでは、早速議事に入ります。まず、1番 前回定例会会議録の承認ですが、令和5年2月定例会の会議録について、委員の皆さんにお気付きの点はございますでしょうか。

教育委員 （異議なし）

教育長 ないようですので、令和5年2月定例会の会議録については承認することといたします。

2番 署名委員の決定ですが、今回は2番の高取委員にお願いをいたします。

次に議事のうち、3番 学校・園の現状報告の生徒指導経過などに関する部分は、会議規則第15条第4号及び第6号の規定に基づき、個人に関する情報を含む会議を公開することにより、個人の権利利害を害するおそれのある事項、会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項として、非公開とするよう発議いたします。このことに賛成いただけますでしょうか。

教育委員 （異議なし）

教育長 よろしいでしょうか。全員一致で非公開と決定いたしました。

それでは、3番 学校・園の現状報告を行いますので、非公開といたします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【 非公開審議 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【 非公開審議 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

教育長 それでは、4番 議案等付議事項について審議を行います。議案第13号 備前市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について、事務局から説明をお願いします。

教育総務課長 それでは、議案第13号 備前市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について説明いたします。3ページから18ページまでの部分ですが、資料を配付しております。組織変更図の方で簡単に説明させていただけたらと思いますので、ご覧ください。

令和5年4月の機構改革案となっております。変更点としましては、まずこの図には組織とは別ということを表示しておりませんが、教育庁内に教育庁を補佐する副教育長というのを置くことができるようにしております。必ず置くというのではなく、置くことができるような規定にしております。続いて、教育振興部内に教育DX推進課というものを設置し、教育ICTの活用推進に関し、総合的な企画調整を行うことを目的としております。また、国際教育推進部内にありました国際教育課の係名をIB教育グループ、英語教育グループというものに変更しまして、引き続き国際バカロレア教育の推進と英語教育の推進を図ることとしております。社会教育部につきましては、現在議会に条例案を提出して審議中のところでございますが、文化、スポーツに関する部分が市長部局に移行することに伴い、社会教育課内の係を整理するとともに、現在設置しております公民館活動課と教育まちづくり推進部を廃止した上、地域教育課を社会教育部に移行し、公民館等の所管を地域教育課としております。図書館事業推進室につきましては大きな変更はございませんが、市立図書館の運営に関する事務について、公民館活動課から図書館プロジェクト推進課に移行しております。最後に、新たに備前緑陽中学一体校準備室を設置して、備前緑陽高校との連携を念頭にした中学校の設立検討等を行うこととしております。以上でございます。

教育長 ただ今の議案第13号についての説明がありました。何か質問がございますでしょうか。

教育委員 備前緑陽中学一体校準備室というのを初めて見たんですけども、具体的にどういうことをするのかということを少し説明していただけると。

教育振興部長 ご説明申し上げます。現在、備前緑陽高校の置かれている状況ということからまず申し上げますと、今年度、県教委の動きの中で、昨年になりますけれども、あらかじめ県の方で決まっております県立高等学校の再編整備基準により、令和5年度からを対象にした入学生の人数によって再編整備が進んでいくという計画がございます。数字で申し上げますと、令和5年度か

ら2年連続で入学者100名を下回るようになった場合は再編整備の対象校となると。同じく令和5年度から2年連続で80名を下回ることになりますと、3年目で募集を停止するという計画の概要でございます。80名を2年連続で下回るということは、もう3年後には廃校となるというものでございます。ところが、県の県議会の中にあります文教委員会からの要請等もありまして、県教委からの発表としましては、1つの自治体に1つしかない県立高校の場合、5年間、その計画の対象からは保留をしますということが発表されたところでございます。令和5年度から5年間はそういう人数の多寡に関わらず、先ほど申しあげましたが、2年連続100名を下回った場合の対象、テーブルに乗ってしまうということ、それから、80名を2年連続でというその部分については、備前市に1つしかない県立備前緑陽高校は保留とするという発表がございました。しかしながら、この東備地域の中でも、邑久高校や和気閑谷高校はすでにクラス数を削減されていっっしゃいます。現状を申しますと備前緑陽高校におきましても160名定員に対しまして、現在の3年生が140数名のようですが、現在の1年生、2年生は120名台だという風にお伺いしております。いわゆる40名の1クラスが今後どうなっていくのかというところは、この5年間の保留の項目とは別扱いのようですので、この1クラス分160名定員は120名定員になるのではないかとということも、学校長も大変危惧をしているという風に伺っております。

今後5年間東備地域の子どもの数、備前緑陽高校につきましては総合学科と言うことで学区が全県学区という扱いになっておりますけれども、現状、市内、市外の生徒さんの割合につきましては、市内が約3割、市外が約7割の在校生と伺っております。備前市のみならず、近隣の市町村それから赤穂線沿線で岡山市内からも通っていただいているようにもお聞きしておりますが、子どもの数というものが少子化によって、定員を下回ってくるということが予測されております。今後5年間において、備前緑陽高校も今120名台の現状がどのように推移してくるかというところを非常に危惧している。自治体としても危惧をしているところでございます。現在、所管としては総合政策部が備前緑陽高校に対しての応援事業を今定例会でも予算の審議をいただいているところでございますが、この県立高等学校の敷地内にあります教室の一部を市立の中学校を一体型という、例えばですけれども、県立操山中高一貫校のような併設型の中高一貫校ということ、県はそういうタイプのものは学校としてはもう作らないということを計画の中でも表明をされていっっしゃいます。ではあります、勝山高校蒜山校地のような連携型の中学校と高校のあり方については、自治体の要請により協議はしていきましようというスタンスのようでもありますので、そういう連携型の中学校を敷地の中なので、一体校という風にはなるんですけれども、あくまで市立の中学校として、連携タイプのもので、接続が同じ敷地内同じ校内でございませ

ので、そういった市立の中学校の設立を検討していく準備室ということでございます。

そのことによって、中学校から緑陽高校の方へ進学をしていく、今後の近い将来とは申しませんが、スタートは市立の中学校ではございますけれども、中高一貫校も視野に入れた検討をしてはどうかと思います。中高一貫校となると県の所有される県立学校でございますし、教員人事の関係もございますので、丁寧な説明と理解を県教委ともお話をさせていただくための準備室をここで立ち上げようということでございます。あらかじめ県の教育委員会の方に対しまして、市の考え方、こういう風な思いなんですということは、丁寧に担当の部署の方々にもお話をさせていただいているところでございます。

また併せて、現在の緑陽高校校長先生をはじめ備前市として、地元自治体としてどのような思いであるのかということも、しっかりと説明をさせていただいているところでございます。様々な課題に関して、色々な検討を行っていくということでございます。

教育長 複雑な内容を含んでるんですと落ちないかもしれないと思いますね。そういう 諸々のことを非常に高校としても、中学校がある市としても、色々な考え方なり状況が変わってきている。それに対応するために、やはりこれからは中高一貫のような形をどのように考えていくかというのは1つの大きな課題ですので、準備室としてまずは立ち上げてですね。現在、緑陽高校にご承知のように市立の片上高校が入ってます。そのような形で、中学校が一部の緑陽高校の中に入っていくということは、考え方としては十分考えれると。もちろん県の県立高校ですので、県との話し合いが進まないといけませんので、県とお話をしながら、市の考え方、いつから、どのような形でどのように進めていくのかという、これから4月から準備室で検討していくということがあります。何もこうしますということを決めてやってるわけではない。もちろん今、部長から話がありましたように、考え方としては先ほどの説明があったとおりです。イエスともノーとも言いにくい状況にはありますので、具体的になるようなら、準備の段階が少し進展していけば、もちろんこの教育委員会です承、意見をお聞きしながら進んでいくということはもちろんなりますが、こういう準備室を設置するという段階ですので今は。そこまでの了解はいただけたらと思っておりますので、よろしく願います。

教育委員 ビジョンとして、例えば操山中学校であれば、受験があつて高校にそのままつながっていきますが、もし、備前市立なんで受験でこの地域の人に来るのか、それともいろんな地域、吉永とか備前中から来るのか、そういうビジョンとか、それ受験をして、ここは県立だから、受験は必ずあると思うんですけど、なんとなく、進もうという中学校の学区が変わってくるのか、新しく作るのか、どこかの中学校が入るのか、まだたぶんこれからだと思んですけど、な

んとなくイメージというのでも今の段階で。

教育振興部長 はっきりとした方向性というものが現段階におきまして、明確になっているということではございません。色々な課題が出てくると思っております。それはハード面であったりソフト面、それぞれ多くの課題があろうかと思っております。今後この5年10年スパンにおいて、備前市の子どもたちの人数の推移がどのようになっていくのか、人口減対策におきましては、自治体の最大の課題であらうかと思っております。少子化で減っていくということだけではなく、やはりいろんな対策を行って、人口を増やしていくような施策というものも、当然求められてくるものだと思っております。IBなどについても、そういう特徴的な魅力を持っている施策ではないかなという風にも感じておりますが、客観的に見た時に、市立の中学校をもう1つ作りましょうという話になりますので、学区の問題にしましても様々な課題を整理していかねばならないという風に思っております。

ただ単に県立高等学校の中に市立の中学校を作るといふことのどのような意味合いが、今後将来を考えていく時に市教委として、真正面から向き合っていかなければならないのかと、そういうことも問われる部分であらうかと思っております。そのことによって、単純に県立高等学校を、それをすれば存続できるんじゃないんでしょうかというものではないという風にも思っております。

学校の設置者というのは、自治体の首長になるわけでございますけれども、様々な議論の積み重ねによつてのコンセンサス、それから非常にコストも必要となる事業ではないかという風に今思っております。学校の中で教える教職員の配置につきましても、今、教員不足という現状も言われている状況の中で、様々な課題を整理していく必要があるかと思っております。今後も教育委員の皆様方とも、このような課題をしっかりと精査をしていただきながら、様々なご意見をいただいて、あらゆる可能性、様々な検討を行っていきたいという風に思っております。

教育委員 あんまり評論家になるのも好きじゃないんですが、私もちょっとその問題を考えて、このまちから県立高校が消えるっていうのは、嫌だなと、だめだと。ただ、今の流れで言うと、県立高校、緑陽を残すために中校一貫の中学を作るとかいう発想ではなくて、別の発想がいいんじゃないかなと。結果として県立高校もこのまちに残る。中高一貫というのはもうこれ時代の流れですから、そのためにどうすべきかというところから。確かにいろんな問題があると思うんですよ。県との関わりとか。少しく発想の転換をして、どうやったら、備前市内はもちろんそうでしょうし、近隣のところから備前の学校に来てもらえる意欲を作っていくのかと。これは違ふぞということの組立を考えないと、多分だめだろうなあ。大変難しい問題なんですね。だか

ら、あなたはどんな発想があるかと言われると困るんですが、発想としては、緑陽を残すことが大前提というか、結果として残るよう、その前にやらなきゃいけないことがいくつかあるんじゃないかなという風に、最近のいろんなことを見てて私は思います。だから、そこら辺は本当に今までの流れとはまた違う時点でいろんな知恵を使ったりとかいうことが今必要なんじゃないかなと思います。

教育長 ありがとうございます。大変明確な1つの考え方とか、方向性を示していただき、ありがとうございます。私もあの大賛成で、備前緑陽高校を残すためにどうするかという、第一義的になりすぎるのは問題があるというのもよく分かる話でありますので、望ましい教育体制をどう備前市に作っていくか、高校との繋がりの中でという問題として、考えていきたいと思います。ありがとうございます。

教育委員 失礼します。先ほど出井委員も言われましたが、備前緑陽は結果的に残るような施策を考えていただきたいなという風に思います。こういう準備室を立ち上げるわけですから、今、中学校も再編、再編で世の中はずっと行ってますので、敷地内に中学校を設置するっていうのは、ちょっと厳しい部分があるかと思うんですが、まだ白紙の状態なので、その辺は状況を見ながら、進めていっていただけたらいいと思います。ただ、これを教育委員会だけの問題じゃなくて、備前市全体として、企業誘致をすとか、子どもの数は決まっていますので、市外から緑陽に来てくれるような仕組みを作ってみたり、人口を増やすような施策、教育委員会だけじゃなくって、他の部署と備前市全体で連携しながら、最終的に出井委員が言われたように緑陽が残るような格好になれば一番いい話かなと思います。まだ白紙の状態なんで、これからだと思うんで、しっかり検討していただきたいと思います。

教育委員 組織について全然異論はないんですけど、ちょっと単純な質問で。人員の増減はどのような格好になるんですか。教育庁で人員は増えることになるんですか。

教育振興部長 人事の配置につきましては、備前市におきましては、総務部総務課が担当課として備前市全体の市長部局、教育委員会も含めて配置を考えていただいているという現状がまずございます。そういった中でどのような配置人員になるかというのは、予定では3月24日に内示が出るという風に伺っておるところでございます。けれども、特にIBを進めていこうという動きの中におきましては、現在、そういった人事の担当部署とも相談しながら、外部からの登用なども進めていこうとしている状況でございます。単純にまだ何人体制にこの4月でなるかということは、まだ明確なお答えはできない状況にはありますけれども、メリハリをつけて推進していくべきところには、力を注いでいくというような考え方で人事当局とも相談の方はさせていただいている

という状況でございます。

教育長 機構上で言えば、今まで4部1室10課体制だったのが、3部2室8課になりますので、それから先ほど報告があったように、文化面とスポーツ面が市長部局の方に行きますので、結果的な人数は現在よりも少なくなるんじゃないかと思われませんが、具体的なことはこれから市長部局との関係の中で決まっていくことです。以上、ほかによろしいでしょうか。この機構の問題は具体的にはそういうことでありますが、事務局の処務規則の一部を改正する規則の制定についてでありました。特にそれ以外ご異論がないようでしたら議案第13号を承認してもよろしいでしょうか。

教育委員 （異議なし）

教育長 それでは異議がないようですので、議案第13号については承認することといたします。以上で議案第13号の審議を終わります。

続きまして、議案第14号 備前市小中一貫教育校に関する規則の一部を改正する規則の制定について事務局から説明をお願いします。

小中一貫教育課長 19ページからになります。備前市小中一貫教育校に関する規則の一部を改正する規則の制定についてです。改正の内容につきましては20ページ、新旧対照表につきましては21ページになります。変更点といたしましては、これまでに小中一貫教育校として、伊里小学校、伊里中学校を伊里学園、三石小学校と三石中学校を三石学園として指定しておりましたが、この4月1日からは備前中学校区の5つの小学校と備前中学校を備前学園として、日生中学校区の2つの小学校と日生中学校を日生学園として、吉永の小学校、中学校を吉永学園として指定しまして、全市で小中一貫教育の推進を図ってまいりたいと考えています。22ページからは参考資料として、新たに小中一貫教育校と指定する備前学園、日生学園、吉永学園の小中一貫教育推進プランを掲載しております。備前市小中一貫教育基本計画に基づきまして、義務教育9年間を通して目指す子ども像を小・中学校間で共有し、それぞれの中学校区の子どもの実態や抱える課題に応じ、必要な組織を構成したり、指導や活動の計画をまとめたり、そういったものをプランとしてまとめております。これまでも小・中学校が連携した取組を進めてまいりましたが、この機に一層の充実を図りながら、教育効果を高めてまいれたらと思っております。よろしくお願ひします。

教育長 以上の説明に何かご質問などございますか。規定として制定するもので、以前から、この4月から、残っていましたが3つの中学校区について新たに学園としまして、5つの中学校区ですべて小中一貫校として指定し、さらに小中一貫教育を推進していくという内容でございます。よろしいでしょうか。

教育委員（質問なし）

教育長 それでは、特にご質問もないようですので、議案第14号を承認してもよろしいでしょうか。

教育委員（異議なし）

教育長 特に異論もないようですので、議案第14号については承認することといたします。以上で議案第14号の審議を終わります。

次に、5番 次回の教育委員会会議の決定ですが、事務局案を説明をお願いします。

教育総務課長 それでは、次回としましては、3月中に臨時会を予定しております。次回、3月27日月曜日、午前9時から市役所4階会議室4-1で開催することを提案いたします。また、4月の定例会につきましては、4月24日月曜日午後1時30分から市役所6階委員会室で開催することを提案いたします。また、その次の5月の定例会につきましては、5月22日月曜日午後1時30分からの開催予定とすることを提案いたします。

教育長 教育未来創造会議は27日何時からですか。10時ですね。その前の9時から10時までに終わるとのことですね。分かりました。9時から10時まで、臨時会ですので比較的短時間で終わるとのことのようです。それから4月は4月24日。よろしいでしょうか。ご予約をお願いします。3月27日臨時会を月曜日午前9時から、定例会は4月が月24日月曜日午後1時半、5月定例会は5月22日月曜日を予定しております。

次に6番 4月の行事予定及び共催・後援予定をお願いします。

幼児教育課長 行事予定の方にも予定として掲載しておりますが、4月7日保育園の入園式、10日月曜日にこども園の入園式を予定させていただいております。昨日の卒園式の方ではご出席の方ありがとうございました。卒園式と同様コロナ感染症対策を取りながら、来賓等をお招きして実施したいと考えております。委員の皆様には4月10日こども園入園式にご出席をお願いできればと考えております。出席園につきましては、改めて調整、連絡をさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

教育長 4月10日ですね。その他。

小中一貫教育課長 引き続き小中一貫教育課からです。3月11日の中学校の卒業式でも大変ご協力をいただきましてありがとうございました。また、4月に入りますと園と同様、入学式でもお世話になります。4月11日に中学校、4月12日に小学校を予定しております。また、委員の皆様におかれましては、参加をいただきたいという風に思っておりますので、ご予約の方を入れておいていただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

教育長 よろしいでしょうか。その他何かございますか。

地域教育課長 最初、教育長の方から三石の灯りの街の未来遺産が登録決定したっていうことのお話、詳細のお話があったと思うんですけども、本日A4で1枚もので、未来遺産決定という通知の書類をもらってます。こちらの中に真ん中から下の方にURLとそれからQRコードがついております。こちらの方を見ていただくと、詳しい情報が載っておりまして、QRコードの方で行くと左側のプレスリリースというのがこの新聞、マスコミ用に出されてる情報がそちらに載ってます。三石の登録の詳しい内容っていうのは、この右側のQRコード、URLと下側の方に、詳しい内容が載っていますので、ぜひそちらを見ていただければという風に思っております。また、一応決定したことについて、今度伝達式というのがそれぞれの各登録地で開催されることになってまして、三石に関しましては、今のところ5月の20日以降から7月の間という形で、審査員になられた方とか、日本ユネスコ協会連盟の事務局からとか皆さんも来られますので、日程調整を今現在かかっています。また、日程特定しましたら、ご案内する形になるかと思っておりますので、ぜひ皆さんまたお考えいただければと思います。よろしく願いいたします。以上です。

教育長 未来遺産、三石灯りの街が認められて大変うれしく思っています。三石も比較的、今まで遺産関係や日本遺産その他とは少し離れてるところがありましたからね。三石も少し大きめのものが認められたんで、うれしく思いますが。田中委員、何か所感がありますか。

教育委員 先日、新聞記事を見てびっくりしたところです。私は、灯りの街、直接ではないんですけど、出店の部でご協力させてもらって、皆さんにいつも焼きそばとか提供しているんですけど、3年ほどやってなかったんで、これからのまた続けていくことが大変だなとスタッフと話し合っています。またこれからも中学校の協力を得て、盛大にできたらと思っています。よろしく願いします。

教育長 よろしく願いします。コロナで3年間ほどなされてなかった。これを契機にさらに、前あるいはそれ以上に三石中学校長もすごく喜んでおられるという情報も私は聞いておりますが、良かったなと思ってます。その他ございますか。

それでは、よろしいですかね。本日の教育委員会定例会第6回を閉会といたします。ご協力いただき、ありがとうございました。

午後 2 時 19 分 閉会

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員 教育長

委 員